

米国・イスラエルによるイラン侵略戦争と日韓の参戦に反対する緊急共同声明

賛同・呼びかけ団体

ノーモア沖縄戦 命どう宝の会

群山米軍基地・私たちの土地を取り戻す市民の会

DSA(アメリカ民主主義的社会主義者)国際委員会

ZENKO(平和と民主主義をめざす全国交歓会)

2026年2月28日、米国とイスラエルはイランに対する軍事攻撃を開始した。これは国連の決定もなく、国際法と国連憲章の原則を踏みにじる一方的な侵略行為であり、地域と世界を戦争拡大の危機に引き込む極めて危険な行動である。この攻撃により学校など民間施設も被害を受け、多くの子どもたちを含む市民が犠牲になっている。私たちはこの残虐な戦争行為を強く非難し、即時の攻撃停止を要求する。

すでにこの戦争には、在日米軍・在韓米軍の基地が深く関与している。沖縄からは、在沖海兵隊第31海兵遠征部隊等約5000人が強襲揚陸艦トリポリ等に乗艦し中東へ派遣された。また在日米軍横須賀基地のイージス艦が沖縄ホワイトビーチを経由して出動し、トマホークミサイルによる攻撃に関与した。沖縄は朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾岸戦争、イラク戦争などにおいて米軍の出撃・兵站基地として使われてきた。沖縄県民は、再び沖縄が侵略戦争の出撃基地となり、報復攻撃の対象となる危険を背負わされることを断固として拒否する。

韓国でも同様の危険が生じている。米国政府は韓国政府の同意もなく、在韓米軍基地に配備されていたTHAADやパトリオットミサイルを中東へ移動させた。もし韓国の基地や装備がイラン戦争に使用されれば、韓国もまたイランとの敵対関係に置かれ、攻撃対象となる可能性がある。さらにトランプ米大統領はホルムズ海峡の「安全確保」を口実に、日本や韓国などに軍艦派遣を要求している。これはアジア諸国を違法な戦争に動員し、地域を戦争の当事者にする危険な動きである。

米国内でもこの戦争に対する強い反対の声が広がっている。米国とイスラエルによる攻撃はイラン人民の主権を侵害する帝国主義戦争であり、長年にわたる制裁と軍事圧力によってイラン社会に苦難をもたらしてきた政策の延長である。私たちはイラン人民への攻撃を非難し、地域からの軍事力の撤退、対話と外交への回帰を求める。

日本政府がトランプ政権の要求を受け入れ、ホルムズ海峡への艦隊派遣などに踏み込めば、それは戦後初めて自衛隊の戦闘部隊が海外の戦争に参戦する事態となる。集団的自衛権の名のもとに日本が参戦することは、憲法の理念に反するだけでなく、日本社会を深刻な軍事衝突の危険にさらす。戦争が拡大すれば自衛隊員の命が失われる危険性も現実のものとなる。

私たちは日本・沖縄、韓国、米国、台湾の市民社会として、アジアの土地と人々が違法な侵略戦争に動員されることを断固として拒否する。

私たちは以下を強く要求する。

- 一、米国とイスラエルはイランへの軍事攻撃を直ちに停止せよ。
- 一、在日米軍・在韓米軍基地をイラン攻撃の拠点として使用することをやめよ。
- 一、日本政府と韓国政府はホルムズ海峡への軍艦派遣を拒否し、米国・イスラエルの侵略戦争に参加するな。
- 一、アジアを再び戦争の出撃基地とする軍事体制を終わらせ、基地の撤去と軍事緊張の緩和を進めよ。
- 一、イスラエルはガザ虐殺、パレスチナの違法な占領と入植の拡大を即時中止せよ。

私たちは国境を越えた市民の連帯によって、この危険な戦争拡大を阻止するための行動を広げていく。アジアを戦争の出撃基地にさせないために、そしてすべての人々の平和と主権を守るために、私たちはともに立ち上がる。

2026年3月18日

ZHAP(ZENKO 辺野古反基地プロジェクト)国際会議